

# 第131回 定時株主総会

---

2019年6月26日（水）

 高島株式会社

## 1. 監査報告

## 2. 第131期 事業報告

### 2-1. 事業の概要

## 3. 第131期 計算書類

### 3-1. 連結の範囲

### 3-2. 連結計算書類

### 3-3. 単体計算書類

### 3-4. 第131期 期末配当

## 4. 中期経営計画「サステナ2020」進捗状況

### 4-1. 中期経営計画 概要

### 4-2. 中期経営計画 重点戦略

### 4-3. 第132期 業績予想

### 4-4. 中期経営計画計数目標 未達要因

### 4-5. 業績推移

## 5. 決議事項

### 5-1. 議決権個数報告

### 5-2. 議案 取締役（監査等委員であるものを除く。）7名選任の件

# 1. 監査報告

---

## ■ 監査等委員会による監査報告

---

- **監査等委員会の監査報告書謄本**

(招集ご通知 43ページ～44ページ)

- **独立監査人の監査報告書謄本**

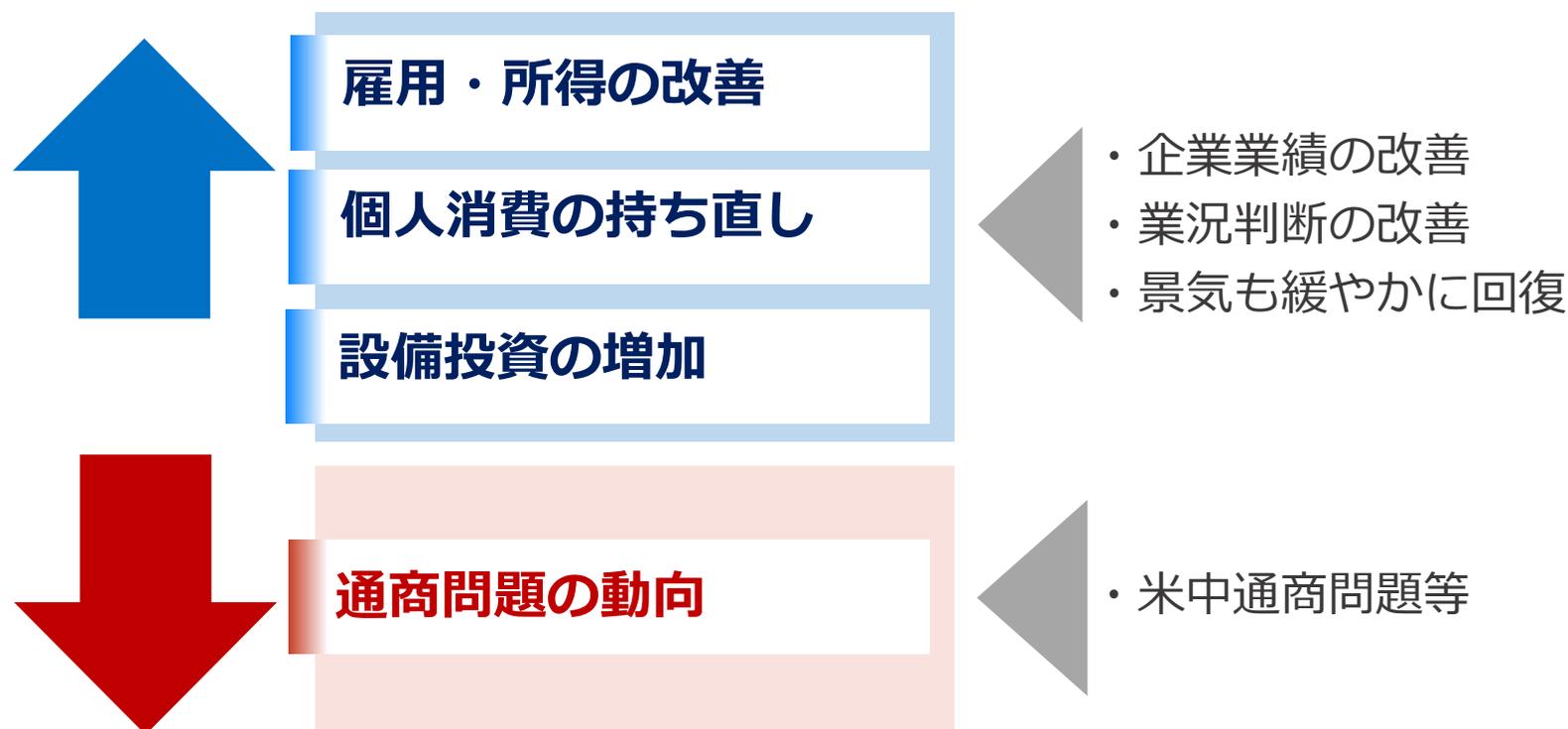
(招集ご通知 41ページ～42ページ)

## 2. 第131期 事業報告

---

(招集ご通知 2ページ～18ページ)

### ■ 事業の経過及びその成果 –当社グループを取り巻く環境–



**金融資本市場変動の影響に留意**

### ■ 事業の経過及びその成果 – 当社グループを取り巻く環境 –

項目	対前期比	要因
<p>売上高 営業利益 経常利益</p> <p>↑ 増加</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設資材関連分野の売上増加</li> <li>・ 繊維製品関連分野の売上増加</li> <li>・ 電子部品関連分野の売上増加</li> <li>・ 販売費及び一般管理費は対売上比で横ばい</li> </ul>
<p>親会社株主に帰属する 当期純利益</p> <p>↓ 減少</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2019年1月に発生した、当社連結子会社小野産業株式会社の火災事故の影響による特別損失が発生</li> </ul>

## 2-1. 事業の概要



### ■ 事業の経過及びその成果

－ 当期の連結業績 －

項目	130期	131期	伸び率
売上高	853億10百万円	895億57百万円	+5.0%
営業利益	16億38百万円	16億82百万円	+2.7%
経常利益	18億47百万円	18億57百万円	+0.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	13億25百万円	11億22百万円	▲15.3%

## 2-1. 事業の概要



### ■ 事業の経過及びその成果 －セグメント別の売上高－

セグメント	130期	131期	伸び率
建 材	488億15百万円	510億64百万円	+4.6%
産 業 資 材	361億42百万円	381億77百万円	+5.6%
賃 貸 不 動 産	3億52百万円	3億16百万円	▲10.3%
合 計	853億10百万円	895億57百万円	+5.0%

### ■ 事業の経過及びその成果 －セグメント別の営業概況－

建材セグメント：対前期比 **+4.6%** 売上増加

分野	対前期比	要因
建設資材関連分野	↑ 増加	<ul style="list-style-type: none"><li>・建設市場が堅調に推移</li><li>・利益率改善による利益増加</li></ul>
太陽エネルギー関連分野	↑ 増加	<ul style="list-style-type: none"><li>・固定買取価格の引き下げに伴う販売単価低下等のマイナス要因を蓄電池拡販がカバー</li></ul>

### ■ 事業の経過及びその成果 —セグメント別の営業概況—

産業資材セグメント：対前期比 **+5.6%** 売上増加

分野	対前期比	要因
電子部品関連分野	↑ 増加	・東南アジアのメーカー機能強化により受注拡大
繊維関連分野	↑ 増加	・アパレル市場の低迷に対し、新規顧客開拓により増収

### ■ 事業の経過及びその成果 －セグメント別の営業概況－

賃貸不動産セグメント：対前期比 **▲10.3%** 売上減少

分野	対前期比	要因
賃料収入	 減少	・保有賃貸不動産売却の影響等

### ■ 資金調達及び設備投資等の状況

**特筆すべき、資金調達及び設備投資はございません。**

**約定に従い借入金の返済を進めてまいりました。**

# 3. 第131期 計算書類

---

## 3-1. 連結の範囲

(招集ご通知 22ページ)

- ・ **連結子会社** … **14社**
- ・ **持分法適用の関連会社** … **2社**

## 3-2. 連結計算書類



### ■ 連結貸借対照表

(招集ご通知 19ページ)

### 資産の部

**資産合計：447億36百万円 対前期+11億39百万円**

科目	130期	131期	増減
<b>流動資産</b>	<b>319億19百万円</b>	<b>345億49百万円</b>	<b>+26億29百万円</b>
現金及び預金	25億10百万円	30億77百万円	+5億66百万円
受取手形及び売掛金	255億51百万円	262億84百万円	+7億32百万円
たな卸資産	36億53百万円	49億79百万円	+13億25百万円
<b>固定資産</b>	<b>116億78百万円</b>	<b>101億87百万円</b>	<b>▲14億90百万円</b>
有形固定資産	57億19百万円	50億01百万円	▲7億18百万円
投資その他の資産	58億17百万円	51億01百万円	▲7億15百万円

## 3-2. 連結計算書類



### ■ 連結貸借対照表

(招集ご通知 19ページ)

### 負債の部

**負債合計：286億37百万円 対前期+8億83百万円**

科目	130期	131期	増減
流動負債	247億18百万円	261億99百万円	+14億81百万円
支払手形及び買掛金	200億26百万円	203億73百万円	+3億46百万円
※有利子負債	31億80百万円	34億82百万円	+3億01百万円
短期借入金	23億31百万円	32億29百万円	+8億97百万円
1年内返済予定の 長期借入金	8億49百万円	2億52百万円	▲5億96百万円
固定負債	30億35百万円	24億38百万円	▲5億97百万円

## 3-2. 連結計算書類

### ■ 連結貸借対照表

(招集ご通知 19ページ)

### 純資産の部

純資産合計：160億99百万円 対前期+2億55百万円

科目	130期	131期	増減
株主資本	134億59百万円	144億82百万円	+10億22百万円
その他の包括 利益累計額	23億84百万円	16億17百万円	▲7億67百万円

自己資本比率 36.0% 対前期 ▲0.3ポイント

## 3-2. 連結計算書類



### ■ 連結損益計算書

(招集ご通知 20ページ)

科目	130期	131期	増減
売上高	853億10百万円	895億57百万円	+42億46百万円
売上総利益	80億12百万円	82億56百万円	+2億44百万円
販売費及び一般管理費	63億74百万円	65億74百万円	+2億00百万円
営業利益	16億38百万円	16億82百万円	+43百万円
営業外収益	2億54百万円	2億63百万円	+8百万円
営業外費用	45百万円	88百万円	+42百万円
経常利益	18億47百万円	18億57百万円	+9百万円
特別利益	46百万円	2億27百万円	+1億81百万円
特別損失	4百万円	3億36百万円	+3億32百万円
税金等調整前当期純利益	18億89百万円	17億47百万円	▲1億42百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	13億25百万円	11億22百万円	▲2億03百万円

## 3-2. 連結計算書類



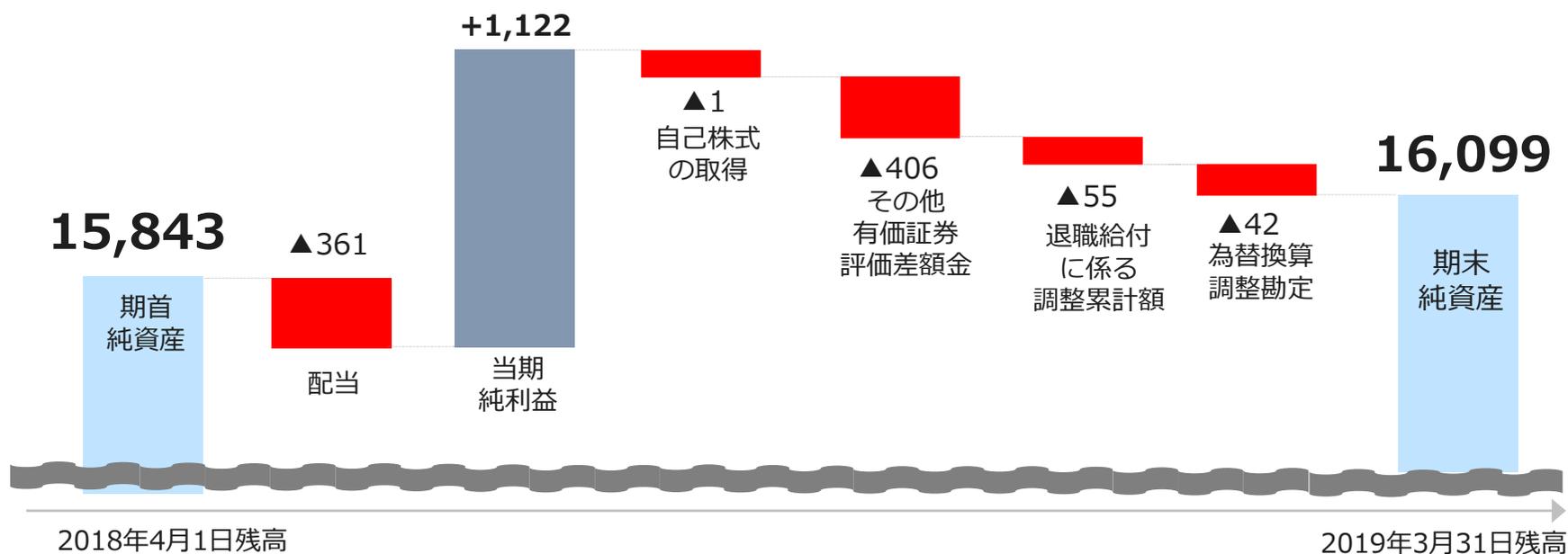
### ■ 連結株主資本等変動計算書

(招集ご通知 21ページ)

**株主資本**  
**+10億22百万円**

**その他の包括利益累計額**  
**▲7億67百万円**

単位：百万円



**純資産合計 +2億55百万円**

### 3-3. 単体計算書類



#### ■ 単体損益計算書

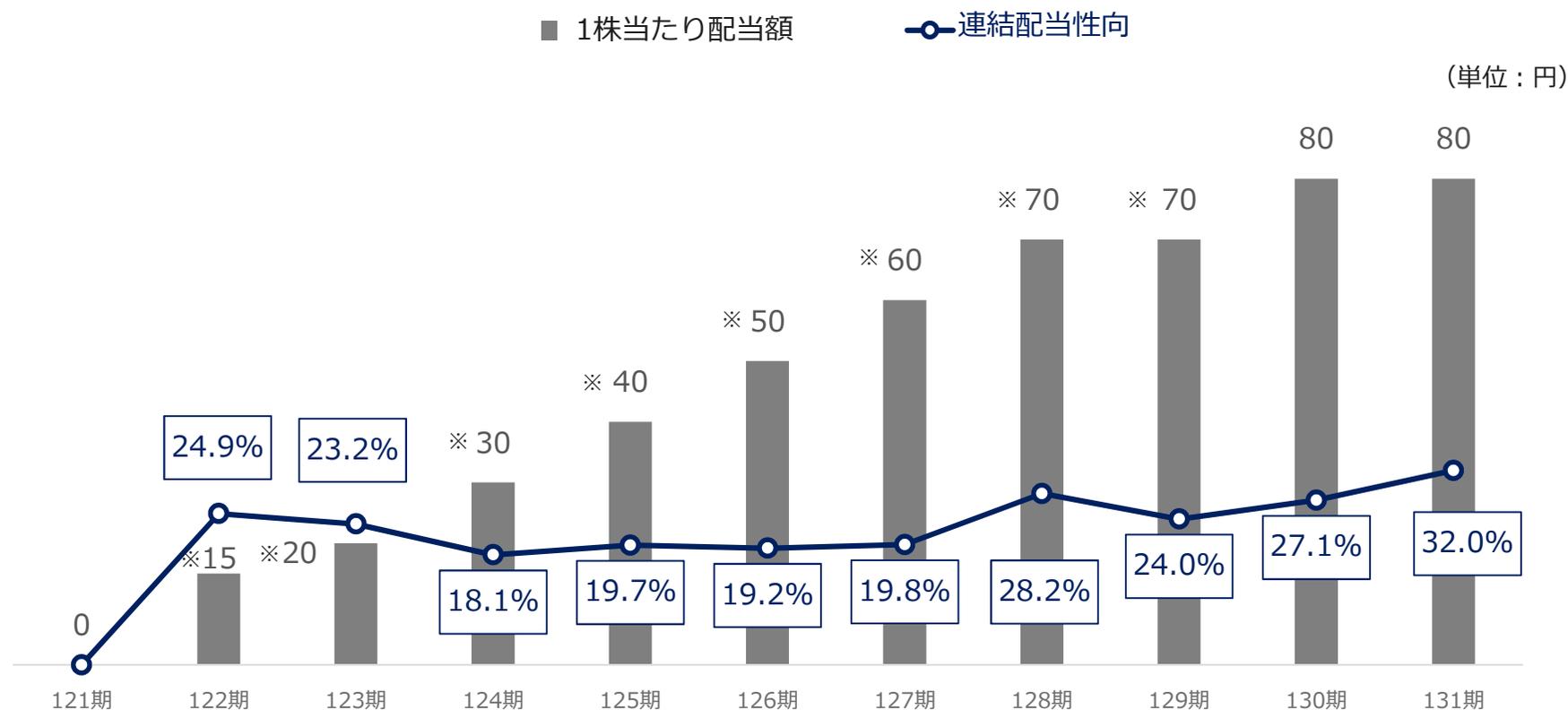
(招集ご通知 32ページ)

科目	130期	131期	増減
売上高	638億08百万円	661億94百万円	+23億86百万円
売上総利益	52億46百万円	54億83百万円	+2億37百万円
販売費及び一般管理費	42億84百万円	43億71百万円	+87百万円
営業利益	9億61百万円	11億11百万円	+1億50百万円
営業外収益	5億74百万円	5億57百万円	▲17百万円
営業外費用	44百万円	16百万円	▲27百万円
経常利益	14億91百万円	16億52百万円	+1億60百万円
特別利益	43百万円	2億49百万円	+2億06百万円
特別損失	一百万円	一百万円	一百万円
税引前当期純利益	15億34百万円	19億01百万円	+3億66百万円
当期純利益	11億61百万円	13億75百万円	+2億13百万円

## 3-4. 第131期 期末配当



### ■ 配当及び配当性向推移



※2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施  
129期以前の1株当たり配当額は、株式併合後の金額で表示

・ 131期の配当金につきましては、**1株当たり80円の期末配当**

2019年5月9日公表「剰余金の配当に関するお知らせ」に記載

## 4. 中期経営計画「サステナ2020」 進捗状況

---

対処すべき課題：（招集ご通知 4ページ～5ページ）

### ■ 中期経営計画「サステナ2020」 – テーマと計数目標 –

テ  
ー  
マ

持続的成長を継続するための  
事業構造・ポートフォリオ転換

計最  
数終  
目年  
標度

売 上 高	1,100 億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	20 億円
R O E	10%以上

### ■ 中期経営計画「サステナ2020」 –重点戦略–

ダントツ戦略

M&A推進

生産性向上

コーポレート・  
ガバナンス強化

ダントツ戦略

M&A推進

生産性向上

コーポレート・ガバナンス強化

**「省エネ」「軽量化」「省力化」を戦略領域とし、  
当社ならではのソリューションを提供してまいります。**

### 省エネソリューション

創エネ・省エネ・蓄エネを関係させ、住まいや建物のエネルギーの有効活用をトータルに支援するソリューション設計・提供を行ってまいります。

### 軽量化ソリューション

環境負荷を低減する軽量化の代替品・改良品のソリューションをデザインから製造・加工・納品までの広いプロセスをコーディネートして提供してまいります。

### 省力化ソリューション

「省力」の概念を加えた工法や新商材、製造・加工など一手間加えたユニット化により、人口減少社会や効率化に対する需要に対応したソリューションを提供してまいります。

## 4-2. 中期経営計画 重点戦略



ダントツ戦略

M&A推進

生産性向上

コーポレート・ガバナンス強化

「省エネ」「軽量化」「省力化」を戦略領域とし、  
当社ならではのソリューションを提供してまいります。

省エネソリューション

軽量化ソリューション

省力化ソリューション



掛け算で提供

開発提案力

複合完結力

ダントツ戦略

M&A推進

生産性向上

コーポレート・  
ガバナンス強化

M & A を積極的に推進し、事業ポートフォリオの  
転換を推進してまいります。

目  
的

新規事業領域の拡大

付加価値機能強化

- ・ M&A実施後 効果的な統合に注力
- ・ グループ全体でのシナジー効果を創出

ダントツ戦略

M&A推進

生産性向上

コーポレート・  
ガバナンス強化

M & A を積極的に推進し、事業ポートフォリオの  
転換を推進してまいります。

**2社のPMI(M&A後の統合)に注力**

- ・ 更なる内部統制強化を推進
- ・ 新規案件選定、持続的成長のための活動展開

ダントツ戦略

M&A推進

生産性向上

コーポレート・  
ガバナンス強化

生産性の向上による強靱なコスト競争力の獲得

内部統制・コンプライアンス体制強化

システム化等による生産性の向上

・ より一層のコスト削減

ダントツ戦略

M&A推進

生産性向上

コーポレート・  
ガバナンス強化

「コーポレートガバナンス・コード」の諸原則を踏まえ、より充実した「攻めのガバナンス」体制構築に継続的に取り組んでまいります。

**監査等委員会設置会社への移行**

**社外取締役・執行役員を増員**

- ・ 機動的かつ効率的な業務執行
- ・ 取締役会の監督機能強化

## 4-2. 中期経営計画 重点戦略



重点戦略	評価	進捗状況
ダントツ戦略	○	・省エネ、軽量化、省力化ソリューションを推進中
M&A推進	×	・過去M&Aを実施した小野産業株式会社のPMIに苦戦
生産性向上	△	・業務生産性改善のためのシステム導入を推進中
コーポレート・ガバナンス強化	○	・監査等委員会設置会社へ移行、社外取締役を増員

## 4-3. 第132期 業績予想



	132期 中計目標値	132期 業績予想	差異	達成率
売上高	1,100億円	950億円	▲150億円	86.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	20億円	14億円	▲6億円	70.0%
ROE	10.0%	8.4%	▲1.6%	84.0%

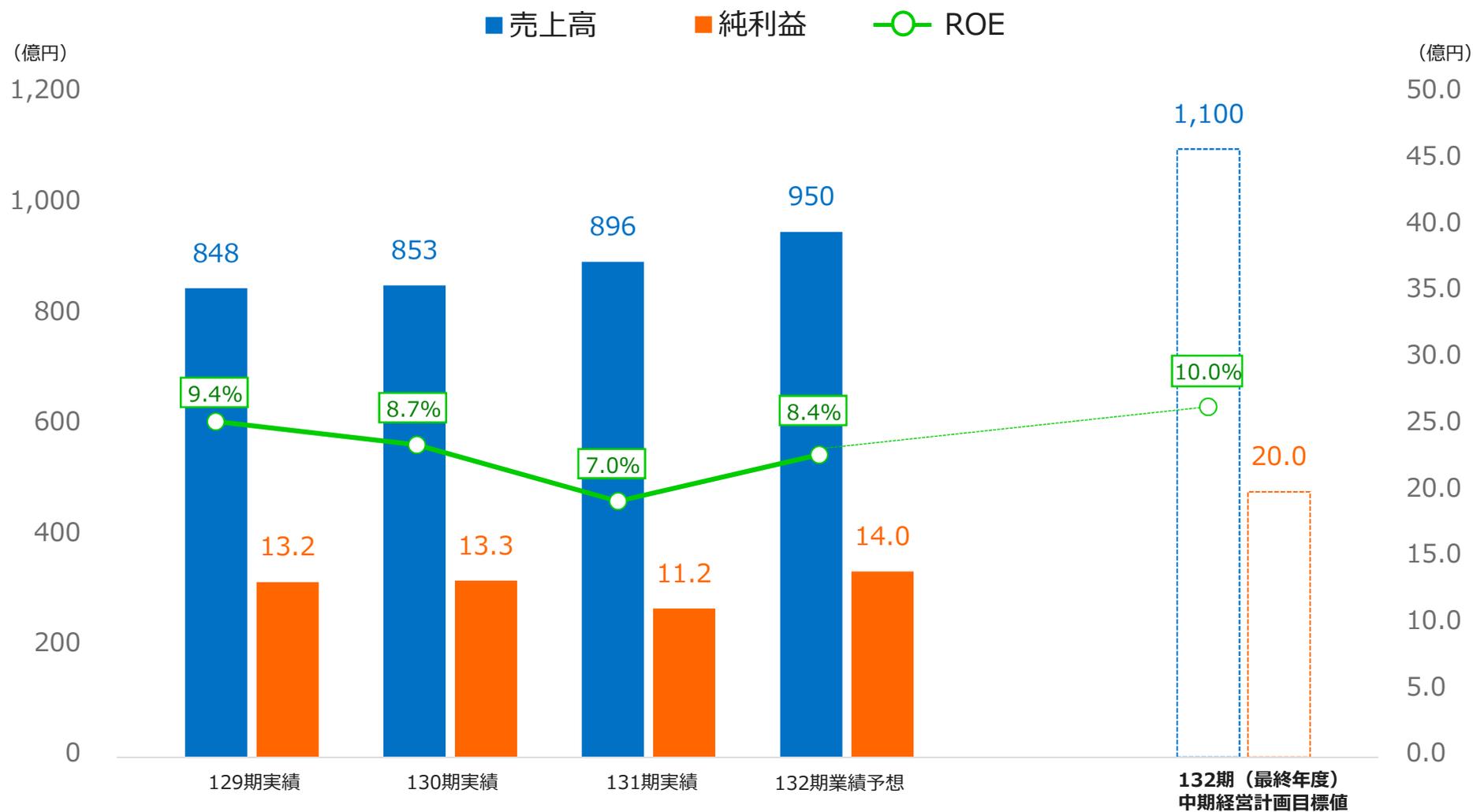
- ・ 中期経営計画「サステナ2020」最終年度目標値に未達も、親会社株主に帰属する当期純利益14億円は過去最高益の予想

- **太陽光市場の想定以上の落ち込み**
- **M&A後のPMI苦戦**
- **小野産業株式会社の火災事故**

# 4-5. 業績推移



## ■ 売上高・純利益・ROE推移



# 5. 決議事項

---

・当期末株主数	4,564名
・発行済株式の総数	4,564,573株
・議決権を有する株主数	3,427名
・その議決権数	44,637個

(招集ご通知 45ページ～48ページ)

議案

取締役（監査等委員であるものを  
除く。）7名選任の件

## 5-2. 議案 取締役（監査等委員であるものを除く。）7名選任の件



# 高島 幸一

重任

代表取締役社長兼社長執行役員

# 高垣 康孝

重任

取締役兼専務執行役員  
建材ソリューション事業本部長

# 大畑 恭宏

重任

取締役兼常務執行役員  
産業ソリューション事業本部長

# 後藤 俊夫

重任

取締役兼常務グループ執行役員  
(重要な兼職の状況)  
iTak(International)Limited 代表取締役社長

## 5-2. 議案 取締役（監査等委員であるものを除く。）7名選任の件



# 山本 明

重任

取締役兼執行役員  
建材ソリューション事業本部副本部長  
兼東日本統括部長

# 宮本 努

重任

取締役兼執行役員  
産業ソリューション事業本部副本部長  
(重要な兼職の状況)  
小野産業(株)代表取締役社長

# 鈴木 隆博

重任

取締役兼執行役員  
経営管理本部長  
(重要な兼職の状況)  
iTak(International)Limited 取締役

(招集ご通知 45ページ~48ページ)

議案

取締役（監査等委員であるものを除く。）7名選任の件

**本日はご多用のところご出席を賜りまして、  
誠にありがとうございました。**

本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や、入手可能な情報に基づくものであり、経済情勢や市場動向の変化等、様々な理由により変化する可能性があります。従いまして、本資料に記載された目標・予想の達成および将来の業績を保証するものではありません。